

地場産米の知名度向上と 省力化技術の導入で地域を笑顔に ～日高町における水稲、品質維持向上支援～

1. 取組の背景

日高町は、ここ10年間で水稲作付け面積は20%程度減少している(図1)。

JA門別では地域のプライベートブランド米として、「馬舞米」を販売している。その食味は一部の消費者から高い評価を得ているものの、作付け面積減少や農家の高齢化により、原料確保が難しくなってきた。

そこで普及センターでは、町、農協、JA門別産米改良協会(以後産米協会)と連携し、良食味米の安定生産、省力化技術の導入、知名度向上に向けた支援を行った。

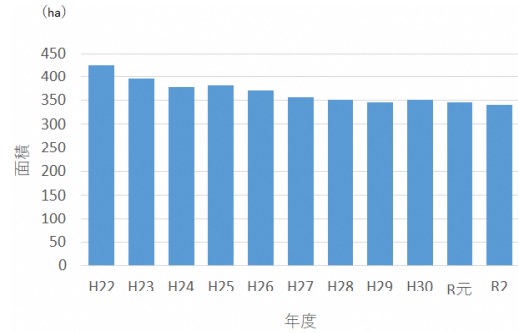


図1 日高町の水稲作付け面積の推移

2. 活動経過

(1) 良食味米安定生産に向けた取り組み

- 生育調査結果や当面の技術対策を FAX 等でタイムリーに発信(表1)。
- 現地研修会等の開催

表2 集合研修(写真1)

時期	カ所	出席者	内容
7月	1	12名	生育状況と省力化技術

※12月予定の研修会はコロナ対策を考慮し中止

表3 刈り取り適期指導

時期	カ所	出席者	内容
9月	3	17名 (30点)	玄米による刈り取り適期判定 乾燥時の注意等

表1 FAX情報の送付回数、内容

時期	回数	内容
4月	3	ハウスの準備、は種育苗
5月	2	育苗管理と移植
6月	2	初期生育確保、水管理
7月	3	幼形期後の管理、防除
8月	2	出穂後の管理、防除
9月	3	適期収穫に向けて



写真1 現地研修会(7月)で生育の確認

(2) 省力化技術導入に向けた取り組み

苗箱のは種量を約2.5倍に増やした高密度は種栽培の試験圃を設置(写真2)

- 育苗、移植にかかる労力、コストの削減で水田面積維持拡大を検討

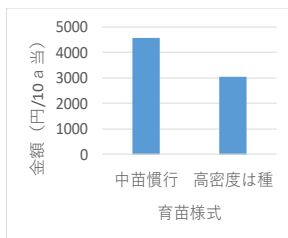


図1 育苗コストの低減 (R元年試験より)

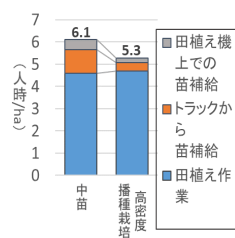


図2 移植作業効率化 (R元年試験より)



写真2、3 高密度播種栽培試験ほの設置(日高町)
(は種や移植作業は多くの人手が必要)



苗管理が少なくなると楽になるわ!



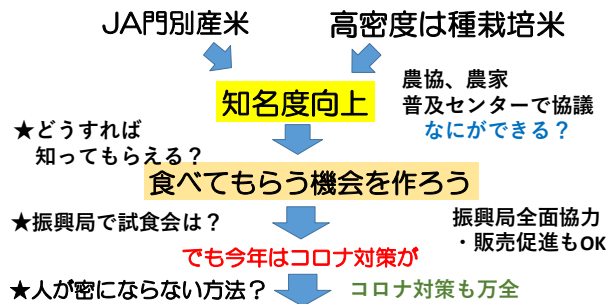
地域の水張りを維持したいね!

省力化技術は後継者のためにも!



(3) 知名度向上に向けた取り組み

○試食会の開催（多様な開催方法を検討）



■振興局、JA門別、普及センターをつないでオンライン開催だ！

○第58回北海道優良米生産出荷共励会、全道ゆめぴりかコンテストに出品

北海道優良米生産出荷共励会
→産米協会とJA門別で推薦者決定
→普及センターは資料作成等の支援

全道ゆめぴりかコンテスト
→日胆地区の代表として参加
→R元年につづき2回目の参加

3. 活動の成果

(1) 良食味米安定生産に向けた取り組み

○収量、品質が向上

農協出荷量契約対比 **112%** (表4)

単収 **521kg/10a** (表5)

ゆめぴりか基準品出荷率 **71%** (前年比 116%)

(2) 省力化技術導入に向けた取り組み

○R2年は慣行栽培を上回る収量と食味

区分	収量 kg/10a	タンパク (%)
中苗マット (慣行)	503	6.5
高密度は種栽培	567	6.3

※普及センター日高西部支所試験成績より

(3) 知名度向上に向けた取り組み

○リモート試食会開催(局食堂で食べてもらいました)

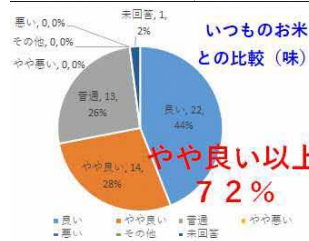


図3 高密度は種栽培の食味は？(ななつぼし)

当日参加者 50名 アンケート回答 29名 (回収率 58%)
 <いただいた意見>
 ・今日のお米は一口食べただけで、おいしさがわかりました。
 ・改めてご飯(米)のおいしさに気づきました。
 ・日高以外でも気軽に買えるくらいになると嬉しいです！
 ・こんなに美味しいお米が食べられているのは、生産者さんの努力の賜物だと思います
 ※他にも多くのエールが寄せられました。。感謝！！



写真4 12月に高密度は種試験の結果を報告

○第58回北海道優良米生産出荷共励会個人の部で**最優秀賞を受賞**

日高町の農家の良質良食味米への取り組みが高く評価

○全道ゆめぴりかコンテストで**金賞を初受賞**

金賞ゆめぴりかシールがついたJA門別産ゆめぴりかが道内各地で限定販売(右写真)

★地域と農家が笑顔に！！

農家、関係者の声

コロナ渦で暗いニュースが多い中で明るい話題はありがたい！
 お米の知名度がもっと高まって価格も上がればいいね！！
 ゆめぴりかコンテストは去年は悔しい思いをしたのでうれしい(〇)



写真5 JA門別産金賞ゆめぴりか(全道で限定販売)

4. 今後の対応

省力化技術の定着により水稻作付面積の維持